

平成28年度 会報誌



国際交流かわら版

平成29年3月17日号

発行 金ケ崎町国際交流協会

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南羽沢55
金ケ崎町中央生涯教育センター内団体交流室

TEL & FAX 0197-44-2099

E-mail kanegasaki.ifa@gmail.com

ホームページ <http://kifa.cocolog-nifty.com/>

月・火・木・金曜日(祝日を除く)午前10時から午後5時まで事務局が常駐します。

小学校・国際理解講座終了しました

unicef Vol.5 ユニセフ講座

日時：2月2日(木) 10:40~11:25
対象：西小学校5・6年生 29名
講師：岩手県ユニセフ協会
主催：当協会

今回は岩手県ユニセフ協会から6名のスタッフの皆さんにお越しいただき、ユニセフで行っている世界の子どもたちへの支援について紹介していただきました。

初めのお話では、世界には5歳になる前に1割の子が亡くなるという国もあり、ユニセフではそのような子をひとりでも多く救うため、栄養失調の子への食料・医療支援を行うとともに衛生環境を改善し、また水くみなど家の手伝いのために学校へ行っていない児童が学校へ行けるよう、井戸を作るなどの支援も行っていることを知りました。



次の水くみ体験では、真鍮製の重い水瓶に水を入れてリレーしました。体験のため水の量は半分ほどでしたが、かなりの重さ。水汲みは女の子の仕事となることが多く、10歳前後の女の子がこの瓶に水を満杯にし、山道を何キロも運んで来ることに子どもたちは驚いていました。



マラリアを媒介する蚊を防ぐための蚊帳。

引き続き DVD「ユニセフと地球のともだち」を鑑賞し、世界の子どもたちが置かれている現状について理解を深めました。子どもたちからは、世界の子どもたちと自分たちが暮らしている環境との違いの大きさに驚く声や、これまでは漠然と「困っている人の役に立てば」と思い行っていた募金が、具体的にどのように役立っているのかが分かり、もっと気持ちを込めて募金しようと思った等の感想が寄せられました。子どもたちがそれぞれに感じ、気付きを得てくれた講座でした。



町からの
お知らせ

姉妹都市ドイツ ライネフェルデ・ヴォアビス市訪問団が来町します



平成29年4月21日(金)から4月24日(月)までの日程で、姉妹都市のドイツ ライネフェルデ・ヴォアビス市よりマルコ・グロサ市長、ゲルト・ラインハルト前市長ほか4名の訪問団が来町し、伝統的建造物群保存地区をはじめ町内施設を視察します。また、訪問団は4月21日(金)17時30分から街地区体育館で開催予定の「町民観桜会」へ参加の予定となっていますので、会員の皆さま、ぜひお越しください。

